

【村山龍平記念香雪美術館奨学金・2026年度奨学生募集要項】

2026年3月

公益財団法人香雪美術館

1、主旨

我が国の美術文化の向上に資するため、絵画や造形表現など芸術分野の創作活動を志す学生のほか、美術分野の研究者、学芸員等を目指す有為な学生たちを支援する。

2、募集人員

大学院生（修士、博士課程）、大学生、短期大学生が対象で、新入生、在学生から40名程度。

3、給付額及び給付期間

下宿生には月額7万円、自宅通学生には月額5万円。いずれも卒業までの正規の最短修学期間で、返還の義務を要しない。

4、出願資格

兵庫県、大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県の大学院、大学、短期大学で美術、工芸、映像、デザイン、美学、美術史、文化財保存などの美術系分野を専修する学部・学科に属する学業優秀者で学資の支弁が困難と認められる者。

5、出願期間

2026年4月1日(水)～4月28日(火) (必着) ※締切日にご注意下さい。

6、出願書類

(1) 奨学生願書

※他の奨学金との併給を認めます。ただし、その場合は願書の「他奨学金の受給について」欄に必要事項を明記下さい（受給予定〔申請中〕である場合はその旨も）。

※必要事項に記入漏れがないようにしてください。

(2) 成績関係証明書（出身高校の成績証明書、または大学の成績証明書）

(3) A4判1枚に書かれた自己PR文

(4) 応募学生の出身高校の校長、クラス・教科担任、または大学院、大学、短期大学の担当教員が作成した奨学生推薦書

(5) 本人及び両親の所得証明書（市町村発行）、所得のない場合は非課税証明書

※上記(1)～(5)全てがそろっていないと選外となります。

※出願書類一式は、在籍校の教務担当者を通して香雪美術館に郵送もしくは提出すること。

送付先：〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2-12-1 公益財団法人香雪美術館 奨学金係

※願書、自己PR文、奨学生推薦書は財団のホームページよりダウンロードしてください。

<https://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage/scholarship/pdf/scholarship2026.pdf>

7、奨学生の決定

(1) 本法人が組織する奨学生選考委員会で、書類選考する。必要に応じて面接を行うこともある。

(2) 奨学生に決定した者については、当該大学を通じて本人に通知する。

8、奨学金の給付方法

奨学金は、各月1日に指定された銀行口座に振り込む。

9、奨学生の義務

奨学生は財団主催の「奨学生のつどい」（年1回）に参加する義務があるほか、財団主催の展覧会や行事に積極的に参加すること。毎学期末に学業・生活状況を報告、成績証明書を提出すること。

NO.

奨学生願書

本人の写真
(3cm×4cm)

- 裏面のり付け
- 半身・無帽・正面
3ヶ月以内のもの
- 写真の裏には
学校名、氏名を書くこと

※上記空欄は本財団にて記入

公益財団法人香雪美術館
理事長 吉田 慎一 殿

2026年 4月 日

貴財団奨学生として採用を希望しますので、所定書類を添付のうえ応募いたします。

フリガナ 氏名		男 女	年齢 生年月日	満 歳 (2026.4.1 現在) (西暦) 年 月 日	
本人の現住所	〒()		Tel () 国籍		
高等学校	立	立	高等学校	科 定時制 全日制 卒業	
大学・短期大学	立	立	大学 短期大学	学部 年 専修 コース	
大学院(修士)			大学院 修士 課程	年 専攻 コース	
大学院(博士後期)			大学院 博士後期 課程	年 専攻 コース	
家庭		氏 名	年齢	職業・勤務先・役職名	総収入(税込)
	父				万
	母				万
	父・母 年 月に 生別・死別				
本人除く就学者	続柄	氏 名	年齢	在学学校名	通学例
					自宅 ・ 自宅外
					自宅 ・ 自宅外
					自宅 ・ 自宅外
父母等家族 の現住所	〒()		Tel ()		
通学形態	自宅通学 ・ 下宿 ・ 大学寮 ・ その他()				
家庭事情	主たる家計支持者() / 両親が無職(失職)の場合その年月(年 月)理由()				
	主たる家計支持者が両親以外の場合、生活費の出所()				
	家計収入が就学者の収入のみの場合、本人の月収 万円				
	他奨学金の受給について ※貸与型か給付型か該当する方に○印をつけて下さい。また、日本学生支援機構の奨学金については、第一種、第二種の種別ならびにそれぞれの受給額も明記下さい。 奨学金名称: / 貸与型 ・ 給付型 / 受給金額月額 円				

個人情報の保護について

香雪美術館は、応募書類記載事項をはじめ奨学生応募に関わる個人情報については厳正に管理し、奨学生の選考、選考過程における連絡、各種統計処理および奨学生採用内定後における各種連絡以外には使用いたしません。また、採用選考に漏れた方の一切の応募書類については責任をもって処分いたします。

